

基本理念と将来像について

(1-①) 基本理念について

原案 「安全で良質な水を構成団体と連携して県民・市民に送り続ける」

(前回)



最終案 「安全で良質な水を構成団体と連携して送り続け、県民・市民のくらしを支える」

【企業団の検討結果】

【委員ご意見】 「水を送り続けることにより達成されることが示されていない」

⇒ 【検討結果】 **構成団体の基本理念を踏まえ、水を送り続けることの目的を明確化する**

【議員ご意見】 「『いのちを守る』というフレーズを入れてもらいたい」

⇒ 【検討結果】 **「くらし」には、いのち・生活・産業などを広く包含するということを本文に記載し、企業団最終案のとおりとする**

参考：構成団体ビジョンの記載

構成団体	基本理念（抜粋）
神奈川県	<u>県民のいのちと産業を支える</u> ライフラインである水と電力を、将来にわたり持続的に供給し、安心のサービスを提供します
横浜市	<u>暮らしとまちの未来を支える</u> 横浜の水
川崎市	健全な水循環により <u>市民の生活を守る</u> 川崎の上下水道
横須賀市	横須賀市上下水道局は <u>お客様の快適で安心できる暮らしと良好な水循環づくりに貢献します</u>

基本理念と将来像について

(1-②) 将来像について

原案 「広域水道としての強みを最大限に発揮するために施設整備と経営基盤の強化を推進し、
(前回) 水道システムの最適化に向けて重要な役割を担っている」



最終案 「最適な水道システムの実現に向けて、施設整備の推進と経営基盤の強化により、
 広域水道としての強みを最大限に発揮している」

【企業団の検討結果】

【委員ご意見】 「企業団が置かれている30年後の状態（イメージ）を明確化すべき」

※委員発言における30年後の状態：最適化「に向けて」or「における」or「された」など

⇒ 【検討結果】 **30年後の状態とそのための手段を明確化するため、原案の前段と後段を組替え**

- ・ **30年後の状態**：最適な水道システムの実現に向けて取組んでいる
- ・ **そのための手段**：施設整備と経営基盤の両面で広域水道としての強みを発揮

【委員ご意見】 「施設整備と経営基盤は両立しえない関係である、分けて表現したほうがよい」

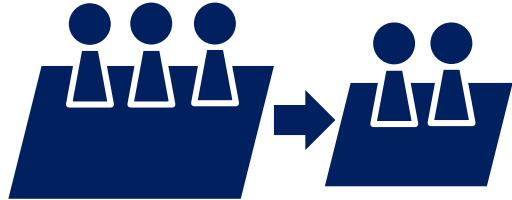
⇒ 【検討結果】 **委員のご意見を踏まえ、「施設整備を推進」「経営基盤の強化」を別々に表現**

基本理念と将来像について

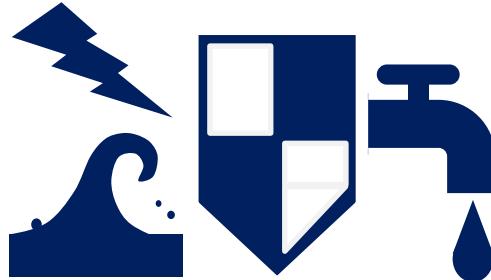
(最適な水道システムについて)

5事業者における「最適な水道システム」 = 5事業者の目指すべき方向性

将来人口に見合った適正な規模



災害・事故時にも安全で安定的な水道水の供給



計画的更新による施設の健全性確保



高効率・適正なコストで少ない環境負荷

